

CASIO®

P

3228 * JA

取扱説明書

保証書付

3228

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取
扱いただきますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に
記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

※ 本書に記載の製品イラストの中には、視認性を考慮して、実際のものとは異
なる描写を行っているものがあります。ご了承ください。

■ 本機の特徴

- オートライト
- データバンク
- 計算機能 / 通貨換算機能
- アラーム (5本) ・時報
- ストップウォッチ
- デュアルタイム

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、ノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。

本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容はすべて消えてしまいます。





注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですとおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

安全上のご注意	表紙裏面	アラーム・時報の使い方	20
操作のしくみと表示の見方	6	アラーム・時報について	20
ライト点灯について	8	アラーム時刻のセット	20
ボタンを押して点灯させる	8	アラーム・時報の ON / OFF 設定	22
時計を傾けて点灯させる	8	鳴っている電子音を止めるには	23
ライト点灯時間の切替え	10	モニターアラーム	23
操作音について	10	ストップウォッチの使い方	24
操作音の ON / OFF 設定	10	計測のしかた	24
言語の設定について	11	デュアルタイムの使い方	25
言語のセット	11	デュアルタイムのセット	25
データバンクの使い方	12	時刻・日付の合わせ方	27
データのサーチ	12	時刻・日付のセット	27
データを入力する	12	参考	30
データの修正	14	曜日の見方	30
データの消去	15	文字リスト	31
計算機能／通貨換算機能の使い方	16	自動ソートの順番	33
計算機能と通貨換算機能の切替え方法	16		
計算機能の使い方	16		
通貨換算機能の使い方	18		

製品仕様	34
ご使用上の注意	38
お手入れについて	41
電池交換について	42
金属バンドの駒詰めについて	42

操作のしくみと表示の見方

⑧ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

※時刻モード以外の各モードで ① ボタン以外のボタンを押した後に ⑧ ボタンを押すと、直接、時刻モードに戻ります。

※データバンクモード、アラームモードで 2～3 分間何も操作を行わないと、自動的に時刻モードになります。

※計算／通貨換算モードで 6～7 分間何も操作を行わないと、自動的に時刻モードになります。

時刻モード

★ 言語設定の確認について

時刻モードのとき、(A) ボタンを押すと現在設定されている言語を確認できます(11 ページ「言語の設定について」参照)。

* 時刻モードでは設定している言語で曜日表示します。曜日の見方については 30 ページ参照。

★ 12/24 時間制表示切替えについて

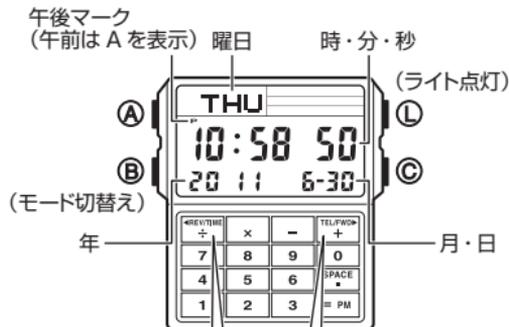
時刻モードのとき、(C) ボタンを押すごとに 12 時間制表示(午前は A / 午後は P を表示)と 24 時間制表示が切り替わります。

★ サマータイム設定について

時刻モードのとき、(C) ボタンを約 2 秒間押し続けるごとにサマータイムの ON / OFF が切り替わります。

※サマータイムを ON にすると、DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

* サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

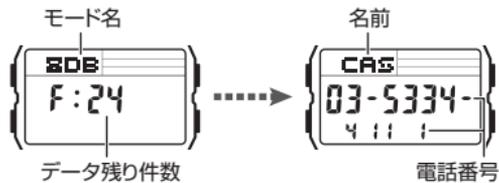


(A) キーを押している間、デュアルタイムモードの表示になります。

(C) キーを押している間、データバンクモードで最後に見たデータを表示します。

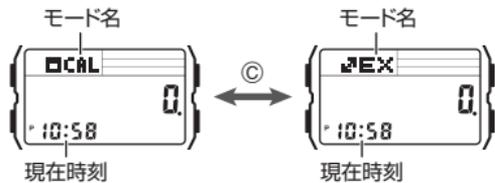
⑧

データバンクモード



P-12

計算／通貨換算モード



P-16

デュアルタイムモード



P-25

ストップウォッチモード



P-24

アラームモード



P-20

ライト点灯について

暗いところで時計の表示を見るときに、ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。また、時計の傾きによってライトを点灯させるオートライト機能を設定できます。

※ライトの点灯時間を約 1.5 秒間と 3 秒間で切り替えることができます (10 ページ参照)。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ (金属球) が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ ボタンを押して点灯させる

～手動点灯～

どのモードのときでも、

① ボタンを押します

→ライトが点灯します。



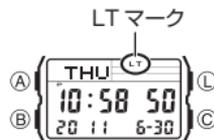
※オートライトの ON / OFFにかかわらず、① ボタンを押すとライトが点灯します。

■ 時計を傾けて点灯させる

～オートライト機能～

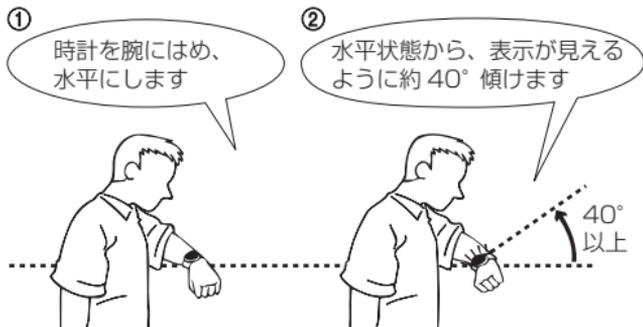
ボタンを押さなくてもライトが点灯する機能です。

準備：時刻モードの「セット中以外の状態 (表示が点滅していない状態)」のときに、① ボタンを約 2 秒間押し続けて、オートライト ON (LT マーク点灯) にします。



※オートライト ON のとき、① ボタンを約 2 秒間押し続けるとオートライト OFF (LT マーク消灯) に戻ります。

●ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を「**手首の外側**」にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を± 15° 以内にしておいてください。15° 以上傾いていると点灯しにくくなります。



― 〈ライトご使用時の注意〉 ―

- 直射日光下ではライト点灯が確認しにくくなります。
- ライト点灯中に操作音やアラームなどの電子音が鳴り出すと点灯を中断します。

― 〈オートライトご使用時の注意〉 ―

- オートライトが作動するのは、オートライト ON してから約 6 時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に LT マークが消え、オートライト OFF になります。
- ※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度 ① ボタンを約 2 秒間押し続けて LT マークを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしても、点灯は約 1.5 秒間または約 3 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上へあげたりしても点灯することがあります。オートライトを使用しないときは必ず OFF にしておいてください。
- ※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

■ ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

**Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し
続けます**

→ 「秒」が点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 点灯時間を選ぶ

Ⓘ ボタンを押します

→ Ⓘ ボタンを押すごとに約 1.5 秒間と約 3 秒間が切り替わります。

※ 「約 3 秒間」になっているときは、3SEC マークが点灯します。



3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

操作音について

モード切替えや計算を行うときなどに鳴るボタンやキーの操作音の ON / OFF を切り替えることができます。操作音の ON / OFF の切替えは、計算 / 通貨換算モードで行います。

■ 操作音の ON / OFF 設定

準備：6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい

Ⓑ ボタン を押し、計算 / 通貨換算モードにします。

「セット中以外の状態（表示が点滅していない状態）」のとき、

Ⓒ ボタン を約 2 秒間押し続けます

→ 確認音が鳴り、操作音の ON / OFF が切り替わります。

※ 操作音を OFF にしているときは、MUTE マークが点灯します。

※ Ⓒ ボタンを押したときに、計算機能 / 通貨換算機能も切り替わりますので、ご注意ください。

※ 操作音を OFF にしているときでも、アラーム音、時報音、ストップウォッチの操作音は鳴ります。



言語の設定について

以下の操作は、時刻モードで行います。

データバンクモードでは、設定している言語で名前部に文字を入力することができます（13カ国語対応）。

また、時刻モードでは設定している言語で曜日を表示します。

※工場出荷時および電池交換後は、「ENG（英語）」でセットされています。他の言語に変更したい場合は、以下の方法で設定しなおしてください。

■ 言語のセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

① ボタンを約2秒間押し続けます

⇒「秒」が点滅します。

※セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 「言語設定」状態にする

② ボタンを5回、または
③ ボタンを7回押します

⇒設定されている「言語コード」が点滅します。



3. 言語を選ぶ

TELFRON + キーまたは MREVTIME + キーを押します

⇒TELFRON + キーを押すごとに「言語コード」が1つずつ進み、MREVTIME + キーを押すごとに戻ります。

※TELFRON + MREVTIME + キーとも、押し続けると早送りができます。



コード	言語	コード	言語
ENG	英語	ITA	イタリア語
POR	ポルトガル語	SVE	スウェーデン語
ESP	スペイン語	POL	ポーランド語
FRA	フランス語	ROM	ルーマニア語
NED	オランダ語	TUR	トルコ語
DAN	デンマーク語	RYC	ロシア語
DEU	ドイツ語		

4. セットを終わる

④ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

データバンクの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
② ボタンを押し、データバンクモードにします。

データバンクモードでは、名前（8 文字）と電話番号（15 桁）のデータを最大 25 件登録できます。

※データバンクモードに切り替えると、データ残り件数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

※データを入力すると名前順に並び替わります（自動ソート）。

* 自動ソートの順番については 33 ページ参照。

■ データのサーチ

データバンクモードのとき、

TELPHON キーまたは **ABEVTIME** キーを押します

⇒ **TELPHON** キーを押すごとに 1 ページずつ進み、**ABEVTIME** キーを押すごとに戻ります。

※ **TELPHON** ・ **ABEVTIME** キーとも、押し続けると早送りができます。

※名前が 4 文字以上のときは、右から左へ流れて表示されます（データの最後に“**▶**”マークが付きます）。

※データ入力をしたページと空きページを表示します。
なお、データを 1 件も入力していないときは、空きページのみ表示します。



■ データを入力する

本機のデータバンクは、設定している言語で名前部に文字を入力することができます（13 力国語対応）。

* 言語の設定については 11 ページ参照。

1. 空きページを選ぶ

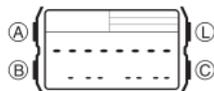
データバンクモードのとき、

◎ ボタンを押して、空きページを表示させます

※データがすでに 25 件登録されているときは、不要なデータを消去しておいてください。

* 15 ページ参照。

<空きページ>



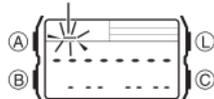
2. セット状態にする

◎ ボタンを約 2 秒間押し続けます

⇒名前部の 1 桁目が点滅します。

※セット状態で 2 ~ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

名前部 1 桁目



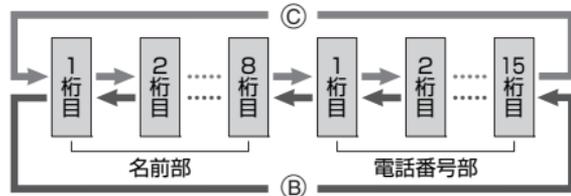
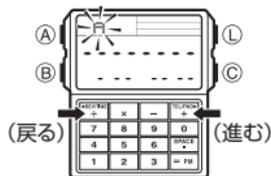
3. 名前部の入力

TELPHONE + キーまたは PREVIEW + キーを押します

⇒ TELPHONE + キーを押すごとに点滅箇所（数字）が1つずつ進み、PREVIEW + キーを押すごとに戻ります。

* 名前部に入力できる文字については31ページ参照。

※ TELPHONE + ・ PREVIEW + キーとも、押し続けると早送りができます。



4. セット箇所を選ぶ

入力したい文字が表示されたら © ボタンを押します

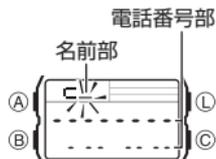
⇒ © ボタンを押すと点滅箇所が右に1つ移動します。

※ 名前は最大8文字まで入力できます。

※ © ボタンを押すと戻ります。

※ © または © ボタンを押すごとに点滅箇所が右図の順で移動しますので、設定したい箇所を選ぶことができます。

※ © ・ © ボタンとも、押し続けると点滅箇所の移動を早送りできます。



5. 電話番号部の入力

© または © ボタンを押して点滅箇所を電話番号部に移動させます

0 ~ 9 ・ - ・ SPACE (空白) キーを押して、入力します



※ 電話番号は最大15桁まで入力できます。

※ 電話番号部に入力できる数字や記号は-、0~9、(空白)です。

※ キーを押して数字などを入力すると、自動的に点滅箇所が右に移動します。

6. セットを終わる

入力が終わったら、© ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、登録完了です。

※ 続けて他のデータを入力したいときは、1. ~ 6. の操作を繰り返し行います。

■ データの修正

1. 修正したいデータを選ぶ

 キーまたは  キーを押します

⇒  キーを押すごとに 1 ページずつ進み、 キーを押すごとに戻ります。

※  ・  キーとも、押し続けると早送りができます。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

⇒ 名前部の 1 桁目が点滅します。

※ セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

3. データを修正する

Ⓒ または Ⓑ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させます

名前部を修正するときは、

 キーまたは  キーを押して正しい文字（数字）を表示させます

電話番号部を修正するときは、

キーを押して正しい数字（記号）を入力します

4. セットを終わる

修正が終わったら、Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、修正完了です。

■ データの消去

1. 消去したいデータを選ぶ

 キーまたは  キーを押します

⇒  キーを押すごとに 1 ページずつ進み、 キーを押すごとに戻ります。

※  ・  キーとも、押し続けると早送りができます。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

⇒ 名前部の 1 桁目が点滅します。

※ セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

3. データを消去する

Ⓑ ボタンと Ⓒ ボタンを同時に押します

⇒ “CLR” 表示後、選択したデータの全内容が消去されます。

※ データ消去後は空きページのセット状態（12 ページ参照）になります。引き続き新しいデータを入力することもできます。

4. セットを終わる

消去が終わったら、Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、消去完了です。

計算機能／通貨換算機能の使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
 Ⓑ ボタンを押し、計算／通貨換算モードにします。

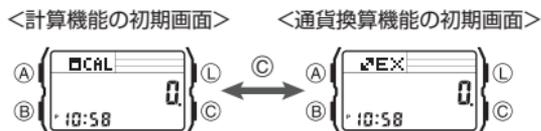
※計算／通貨換算モードで6～7分間何も操作を行わないと、自動的に時刻モードになります。

■ 計算機能と通貨換算機能の切替え方法

計算／通貨換算モードで「計算機能の初期画面」または「通貨換算機能の初期画面」が表示されているときに、Ⓒ ボタンを押します。

Ⓒ ボタンを押すごとに、計算機能と通貨換算機能が切り替わります。

※初期画面が表示されていないときは、Ⓒ ボタンを1回または2回押すと初期画面になります。



■ 計算機能の使い方

準備：「計算機能の初期画面」にします。

置数、答えとも8桁（負数は7桁）で数式通りに計算できます。 $\boxed{+}$ 、 $\boxed{-}$ 、 $\boxed{\times}$ 、 $\boxed{\div}$ の各キーを押すとそれぞれ計算過程（+、-、×、÷）が確認できます。

● 基本計算

数式通りに操作できます。

例 題	操 作	表示窓
$53 + 123 - 63 = 113$	$53 \boxed{+} 123 \boxed{-} 63 \boxed{=}$	53. 176. 113.
$2.3 \times 6 \times 5.2 = 71.76$	$2.3 \boxed{\times} 6 \boxed{\times} 5.2 \boxed{=}$	71.76
$89 \div 56 = 1.5892857$	$89 \boxed{\div} 56 \boxed{=}$	1.5892857
$963 \times (23 - 56) = -31779$	$23 \boxed{-} 56 \boxed{\times} 963 \boxed{=}$	- 31779.
$(56 \times 3 - 89) \div 5.2 + 63 = 78.192307$	$56 \boxed{\times} 3 \boxed{-} 89 \boxed{\div} 5.2 \boxed{+} 63 \boxed{=}$	78.192307
$123456 \times 741852 = 915 \text{ 億 } 86080000$	$123456 \boxed{\times} 741852 \boxed{=}$	915.8608E 億の位 ※エラー

※エラー（E）表示後、Ⓒ ボタンを押すとエラーが解除されます。

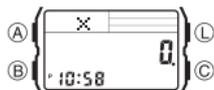
●定数計算

置数の後に $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{+} \right]$ 、 $[-]$ 、 $[x]$ 、 $\left[\frac{\text{MEMORY}}{\div} \right]$ の各キーを 2 回押すと、その数が定数としてセットされ (K を表示) 同じ数を使った計算が簡単にできます。

例題	操作	表示窓
$12 + 23 = 35$ $45 + 23 = 68$	23 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{+} \right]$ 12 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{+} \right]$ 45 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{+} \right]$	K35. K68.
$7 - 5.6 = 1.4$ $2 - 5.6 = -3.6$	5.6 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{-} \right]$ 7 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{-} \right]$ 2 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{-} \right]$	K1.4 K-3.6
$2.3 \times 12 = 27.6$ $4.5 \times 12 = 54$	12 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\times} \right]$ 2.3 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\times} \right]$ 4.5 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\times} \right]$	K27.6 K54.
$45 \div 9.6 = 4.6875$ $78 \div 9.6 = 8.125$	9.6 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\div} \right]$ 45 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\div} \right]$ 78 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\div} \right]$	K4.6875 K8.125
$17 + 17 + 17 + 17 = 68$	17 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{+} \right]$ $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{+} \right]$ $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{+} \right]$ $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{+} \right]$	K68.
$(2.3)^4 = 27.9841$ (または“(2.3) ² ”として →)	2.3 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\times} \right]$ $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\times} \right]$ $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\times} \right]$ $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\times} \right]$ 2.3 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\times} \right]$ $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\times} \right]$ $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{\times} \right]$	K27.9841

●計算途中の訂正のしかた

計算途中に数字を押し間違えたときは、 $\left[\frac{\text{C}}{\text{C}} \right]$ ボタンを押してから、正しい数値を入力します。



※ $\left[\frac{\text{C}}{\text{C}} \right]$ ボタンを押すと、そのとき表示されている数値が消失され、それまでの計算に支障なく引き続き計算が行えます。また、 $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{+} \right]$ 、 $[-]$ 、 $[x]$ 、 $\left[\frac{\text{MEMORY}}{\div} \right]$ キーを押し間違えたときは、引き続き正しいキーを押してください。

●オールクリアー (AC) のしかた

$\left[\frac{\text{PM}}{=} \right]$ キーを押して計算結果を表示しているときや $\left[\frac{\text{TELEPHONE}}{+} \right]$ 、 $[-]$ 、 $[x]$ 、 $\left[\frac{\text{MEMORY}}{\div} \right]$ キーを押した直後は、 $\left[\frac{\text{C}}{\text{C}} \right]$ ボタンを 1 回押します。

数値を入力した直後の場合は、 $\left[\frac{\text{C}}{\text{C}} \right]$ ボタンを 2 回押します。

■ 通貨換算機能の使い方

換算レートを設定して、通貨換算を行います。

● レートと換算方向の設定

準備：「通貨換算機能の初期画面」にします。

例) 1 ドル = 90 円で、「レート」と「換算の方向」を設定する

1. セット状態にする

① ボタンを約 2 秒間押し続けます



→ レートが点滅します。

※ セット状態で 2 ~ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. レートのセット

入力キーでレートを入力します



※ 間違えたレートを入力したときは、③ ボタンを押します。入力した数値が "0" になります。

3. 換算方向のセット

× キーまたは $\frac{\text{DOLLAR}}{\text{YEN}}$ キーを押します

※ ドル → 円に換算する場合は、× キーを押します。

※ 円 → ドルに換算する場合は、 $\frac{\text{DOLLAR}}{\text{YEN}}$ キーを押します。



4. セットを終わる

② ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※ セット完了後、③ ボタンを押すと「通貨換算機能の初期画面」に戻ります。

●通貨換算を行う

準備：「通貨換算機能の初期画面」にします。

例 1) 1 ドル = 90 円で、ドル→円に換算する
(レートと換算方向は、「× 90」に設定)

例題	操作	表示窓
23 ドルは何円?	23 <input type="text"/>	2070.

例 2) 1 ドル = 90 円で、円→ドルに換算する
(レートと換算方向は、「÷ 90」に設定)

例題	操作	表示窓
5000 円は何ドル?	5000 <input type="text"/>	55.555555

※換算結果の確認の際は、小数点の位置にご注意ください。

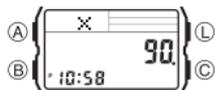
※間違えた数値を入力したときは、**ⓐ** ボタンを押します。
入力した数値が“0”になります。

※**ⓐ** ボタンを押すと「通貨換算機能の初期画面」に戻ります。

●現在設定されているレートと換算方向を確認する

Ⓐ ボタンを押します

⇒現在の設定が表示されます。



アラーム・時報の使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
② ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラーム・時報について

● 通常アラーム

設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴ります。

● スヌーズアラーム（アラーム 1 のみ切替え可能）

設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

● 時報

毎正時（00 分）に時報を鳴らすことができます。

■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

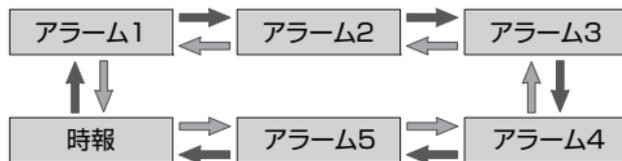
アラームモードのとき、

TEL/PWR + キーまたは REVERSE + キーを押します

→ TEL/PWR + ・ REVERSE + キーを押すごとに表示が右図の順で切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。



TEL/PWR + キー： → REVERSE + キー： ←



2. セット状態にする

① ボタンを約 2 秒間押し続けます

→ 時の「十の桁」が点滅します。

※ 該当のアラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。

※ アラーム 1 がスヌーズアラーム ON のときにセット操作を行うと、スヌーズ設定は OFF になります。

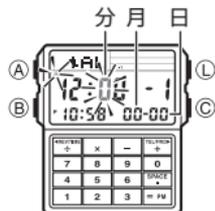
※ セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



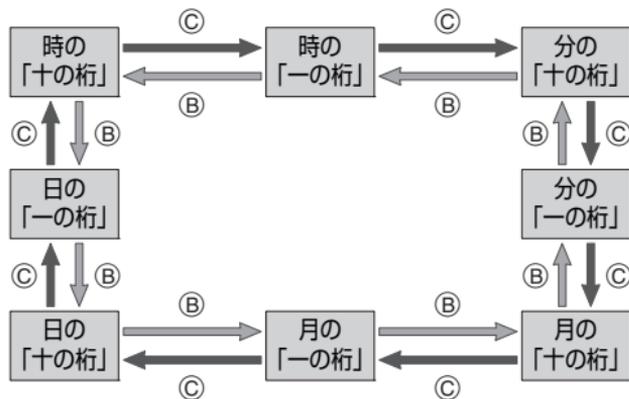
3. アラーム時刻の入力

0 ~ 9 キー、 = PM キー
を押して、入力します

- ※ 「1時」や「9分」など「一の桁」だけの時分月日を入力するときは、「十の桁」に“0”を入力してください。
- ※ キーを押して数字を入力すると、自動的に点滅箇所が右に移動します。
- ※ 「時」のセットのとき午前(A)／午後(P)、または24時間制にご注意ください。
時刻が点滅しているときに [=PM] キーを押すごとに午前(A)と午後(P)が切り替わります。
- ※ 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。
- ※ 「時・分」に加えて「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。
なお、「月」や「日」をセットしないときは、その箇所に“00”を入力してください。



※ ③ または ② ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を選ぶことができます。



4. セットを終わる

① ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

毎日鳴らす ⇒ 「時・分」のみセット
 指定月に毎日鳴らす ⇒ 「月・時・分」のみセット
 毎月同じ日に鳴らす ⇒ 「日・時・分」のみセット
 指定月日に鳴らす ⇒ 「月・日・時・分」全てセット

■ アラーム・時報の ON / OFF 設定

● アラーム 1 (通常アラーム / スヌーズアラーム)

準備：アラームモードのとき、**[TELPRG]** キーまたは **[REVIEW]** キーを押して、アラーム 1 を選びます。

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとにアラームの ON / OFF が以下の順で切り替わります。

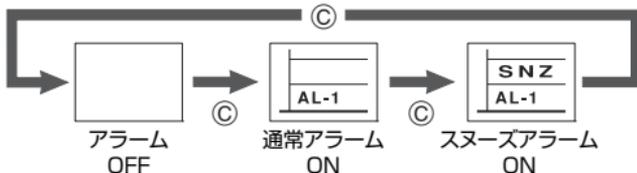
※ アラーム 1 のアラームマークが点灯しているときに ON となり、アラームが鳴ります。

※ スヌーズアラーム ON のときは SNZ マークも点灯します。

<アラーム 1 表示>

アラーム 1 の
アラームマーク

SNZ マーク



● アラーム 2 ~ アラーム 5 (通常アラーム) ・ 時報

準備：アラームモードのとき、**[TELPRG]** キーまたは **[REVIEW]** キーを押して、鳴らしたいアラームを選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとにアラームまたは時報の ON / OFF が切り替わります。

※ それぞれのマークが点灯しているときに ON となり、アラーム・時報が鳴ります。

<アラーム 2 表示>

アラーム 2 の
アラームマーク

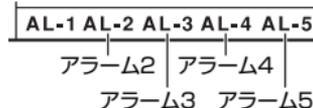


<時報表示>

時報マーク



<アラームマークの見方>



■ご注意■

- スヌーズアラーム機能中（SNZ マークが点滅）に以下の操作を行うと、点滅が止まり、スヌーズアラームが終了します。

- 時刻モードでセット状態に入ったとき。
- アラームモードでアラーム 1 のセット状態に入ったとき。

- 現在時刻のセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、1 回のみ報音を行います。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのとき、◎ ボタンを約 2 秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ストップウォッチの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
② ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

③ ボタンを押します

⇒ ③ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。



● 通常計測



積算計測…ストップ後リセットせずに ③ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム (途中経過時間) の計測



● 1・2 着同時計測



●計測中に ① ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります (“SPL” マーク点灯)。

※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

●計測ストップ後 ① ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります (リセット)。

デュアルタイムの使い方

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。

※デュアルタイムの「秒」は現在時刻の「秒」と連動しています。

※現在時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制で表示されます。

デュアルタイム 現在時刻



SEVTIME + キーを押している間、時刻モードの表示になります。

TELEPHONE + キーを押している間、データバンクモードで最後に見たデータを表示します。

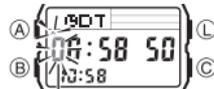
6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
⑧ ボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

■ デュアルタイムのセット

1. セット状態にする

デュアルタイムモードのとき、

⑧ ボタンを約2秒間押し続けます



→ 時の「十の桁」が点滅します。

時の「十の桁」

※ セット状態で2～3分何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. デュアルタイムの入力

0 ~ 9 キー、 = PM キー
を押して、入力します

- ※ 「1時」や「9分」など「一の桁」だけの時分を入力するときは、「十の桁」に「0」を入力してください。
- ※ キーを押して数字を入力すると、自動的に点滅箇所が右に移動します。
- ※ 「時」のセットのとき午前(A)／午後(P)、または24時間制にご注意ください。
時刻が点滅しているときに = PM キーを押すごとに午前(A)と午後(P)が切り替わります。
- ※ © または ② ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を選ぶことができます。



3. セットを終わる

① ボタンを押します

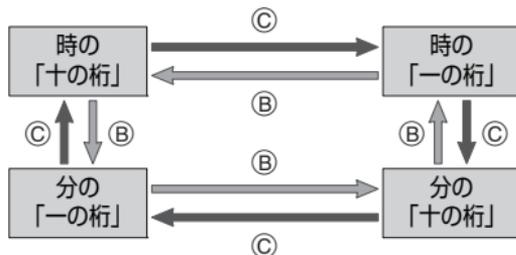
→点滅が止まり、セット完了です。

★デュアルタイムのサマータイム設定について

デュアルタイムモードのとき、© ボタンを約2秒間押し続けるごとにサマータイムのON / OFFが切り替わります。

- ※サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。

DSTマーク



時刻・日付の合わせ方

以下の操作は、時刻モードで行います。

電池交換後などで、時刻や日付が合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻・日付のセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

⇒「秒」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 「秒」合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて「0」キーを押します

⇒「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。



3. 「時刻・日付」合わせ

a. 日付（年月日）を合わせる

◎ ボタンを押します

⇒年の「十の桁」が点滅します。

「0」～「9」キーを押して、年月日を入力します

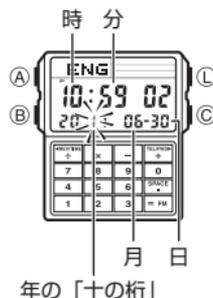
※ 「1月」や「9日」など「一の桁」だけの月日を入力するときは、「十の桁」に「0」を入力してください。

※ キーを押して数字を入力すると、自動的に点滅箇所が右に移動します。

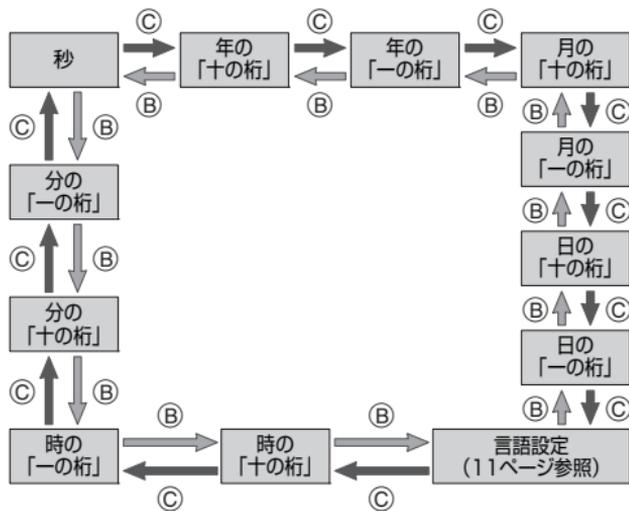
※ 「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。

※ 「年」「月」「日」は正しくセットしてください。うるう年、大の月および小の月を判別して、「曜日」を自動的に設定します（フルオートカレンダー）。

* 時刻モードでは、設定している言語で曜日表示します。曜日の見方については30ページ参照。



※ ㉓ または ㉔ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を選ぶことができます。



b. 時刻 (時分) を合わせる

㉓ または ㉔ ボタンを押して点滅箇所を時の「十の桁」に移動させます

0 ~ 9 キー、PM キーを押して、時分を入力します



- ※ 「3 時」や「7 分」など「一の桁」だけの時分を入力するときは、「十の桁」に「0」を入力してください。
- ※ キーを押して数字を入力すると、自動的に点滅箇所が右に移動します。
- ※ 「時」のセットのとき午前(A)／午後(P)、または24時間制にご注意ください。
時刻が点滅しているときにPM キーを押すごとに午前(A)と午後(P)が切り替わります。

4. セットを終わる

㉕ ボタンを押します

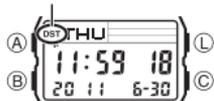
⇒点滅が止まり、セット完了です。

★サマータイム設定について

時刻モードのとき、◎ ボタンを約 2 秒間押し続けることにサマータイムの ON / OFF が切り替わります。

※サマータイムを ON にすると、DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

DST マーク



※サマータイム設定を行う際に、12 時間制表示と 24 時間制表示も切り替わってしまいます。

12 時間制表示と 24 時間制表示を切り替えるときは、◎ ボタンを押してください。

参考

■ 曜日の見方

時刻モードでは設定している言語で曜日を表示します。

	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
ENG (英語)	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
POR (ポルトガル語)	DOM	SEG	TER	QUA	QUI	SEX	SÁB
ESP (スペイン語)	DOM	LUN	MAR	MIÉ	JUE	VIE	SÁB
FRA (フランス語)	DIM	LUN	MAR	MER	JEU	VEN	SAM
NED (オランダ語)	ZON	MAA	DIN	WOE	DON	VRI	ZAT
DAN (デンマーク語)	SØN	MAN	TIR	ONS	TOR	FRE	LØR
DEU (ドイツ語)	SON	MON	DIE	MIT	DON	FRE	SAM
ITA (イタリア語)	DOM	LUN	MAR	MER	GIO	VEN	SAB
SVE (スウェーデン語)	SÖN	MÅN	TIS	ONS	TOR	FRE	LÖR
POL (ポーランド語)	NIE	PON	WTO	ŚRO	CZW	PIŃ	SOB
ROM (ルーマニア語)	DUN	LUN	MAR	MIE	JOI	VIN	SÂM
TÜR (トルコ語)	PAZ	PZT	SAL	ĖAR	PER	CUM	CTS
RYC (ロシア語)	BC	ПH	BT	CP	ЧT	ПT	CB

■ 文字リスト

本機のデータバンクは、設定した言語で名前部に文字を入力することができます（13カ国語対応）。入力できる文字は以下の通りです。

ENG (英語)	(空白) ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZa!?' .: /+-0123456789
POR (ポルトガル語)	(空白) AÃÄÅĂBCÇDDEÉÊFGHIÍJKLNMNOÓÔÕPQRS TUÚVWXYZa!?'.: /+-0123456789
ESP (スペイン語)	(空白) AÁBCDEÉFGHIÍJKLMNÑOÓPQRSTUÚÜVW XYZa!?'.: /+-0123456789
FRA (フランス語)	(空白) AÀÂABCÇDDEÉÈÊËFGHIÏÏJKLMNOÏPQRS TUÛÜÜVWXYZa!?'.: /+-0123456789
NED (オランダ語)	(空白) ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZa!?' .: /+-0123456789
DAN (デンマーク語)	(空白) ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZÆØÅa !?'.: /+-0123456789
DEU (ドイツ語)	(空白) AÄBCDEFGHIJKLMNOPÖPQRSTUÜVWXYZa !?'.: /+-0123456789

ITA (イタリア語)	(空白) AÀBCDEÉÈFGHI Ì IJKLMNOÓÒPQRSTUÙV WXYZà! ? ' . : / + - 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
SVE (スウェーデン語)	(空白) ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZÅÄÖä ! ? ' . : / + - 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
POL (ポーランド語)	(空白) AĄBCĆDEĘFGHI JKŁŁMNŃOÓPQRSŚTUVW XYZŻźà! ? ' . : / + - 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ROM (ルーマニア語)	(空白) AĂÂBCDEFGHI ÎJKLMNPOQRSȘTȚUVWXY Ză! ? ' . : / + - 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
TÜR (トルコ語)	(空白) ABCÇDEFGĞHI İJKLMNOÖPQRSŞTUÜVWX YZă! ? ' . : / + - 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
РУС (ロシア語)	(空白) АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЧШЩЪЫЬ ЭЮЯă! ? ' . : / + - 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

■ 自動ソートの順番

データベースモードでは、データを入力すると名前順に並び替わります。自動ソートの順番は以下の通りです。

1	(空白)	15	E	29	İ	43	Ö	57	Ô	71	Б	85	О	99	Ь	113	1
2	А	16	É	30	ı	44	ö	58	Û	72	В	86	П	100	Э	114	2
3	Ă	17	È	31	Ĳ	45	œ	59	У	73	Г	87	Р	101	Ю	115	3
4	Ą	18	Ê	32	Ķ	46	ƒ	60	W	74	Д	88	С	102	Я	116	4
5	Ȧ	19	Ë	33	Ļ	47	Œ	61	X	75	Е	89	Т	103	Ъ	117	5
6	Ȧ	20	ƒ	34	Ł	48	Ŕ	62	Y	76	Ё	90	У	104	!	118	6
7	Ȧ	21	ƒ	35	М	49	Š	63	Z	77	Ж	91	Ф	105	?	119	7
8	Ȧ	22	ƒ	36	N	50	Š	64	Ž	78	З	92	Х	106	'	120	8
9	Ȧ	23	Š	37	Ń	51	Š	65	Ž	79	И	93	Ц	107	.	121	9
10	В	24	Н	38	Ň	52	Т	66	Æ	80	Й	94	Ч	108	:		
11	С	25	І	39	О	53	І	67	Ø	81	К	95	Ш	109	/		
12	ƒ	26	ı	40	Ó	54	U	68	Ă	82	Л	96	Щ	110	+		
13	Ĉ	27	İ	41	Ò	55	Ú	69	Ā	83	М	97	Ъ	111	-		
14	О	28	İ	42	Ë	56	Ù	70	Ö	84	Н	98	Ы	112	0		

※7番の「Ȧ」はドイツ語で、69番の「Ā」はスウェーデン語です。

※43番の「Ö」はドイツ語とトルコ語で、70番の「Ë」はスウェーデン語です。

※71番から102番までの文字はロシア語です。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差±30秒以内

基本機能：時・分・秒
午前(A)/午後(P)/24時間制表示
年・月・日・曜日
フルオートカレンダー(2000～2099年)
サマータイム設定機能

データバンク機能：名前(8文字)と電話番号(15桁)を最大
25件記憶
自動ソート、13カ国語対応

計算機能：8桁加減乗除、四則定数計算、計算状態表示

通貨換算機能：換算レート(8桁)と換算方向(×/÷)を
1件記憶

アラーム機能：時刻アラーム
本数=5本
セット単位=月・日・時・分
電子音=10秒間
通常アラーム/スヌーズアラーム
(合計7回)
*スヌーズアラームはアラーム1のみ切
替え可能。

時報 毎正時に2回電子音で報知

ストップウォッチ機能：計測単位=1/100秒
計測範囲=23時間59分59秒99
(24時間計)
計測機能=通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2着同時計測

デュアルタイム機能：表示内容=時・分・秒
セット単位=時・分
サマータイム設定機能

その他の：自動復帰機能、12/24時間制表示切替え、
LEDライト、オートライト、
ライト点灯時間切替え、モニターアラーム、
言語設定機能(13カ国語対応)、
操作音ON/OFF切替え

使用電池：CR1616 1個(電池別途販売)

持続時間：約3年
(1日あたりライト1.5秒間、電子音10秒)
間使用した場合

memo



memo

ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

	表示	時計の表面または裏蓋に表記	日常生活用防水 「BAR」表記無し	日常生活用強化防水		
				5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
使用例			5BAR	10BAR	20BAR	
		洗顔、雨	○	○	○	
		水仕事、水泳	×	○	○	
		ウインドサーフィン	×	○	○	
	スキンドайビング(素潜り)	×	×	○		

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等(石鹸・シャンプーなど)のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2～3年を目安)なバッキン交換をおすすめします。

- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態でも、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換(有償)をお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておく、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておく、色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび(錆)が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

■ データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います（防水検査は別途有償となります）。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。